環 境 活 動 レ ポ ー ト

2024 年 6 月 1 日

(2023 年 3 月～2024 年 2 月)

マツダオートザム旭川

事業活動の概要

１．事業所名及び代表者名
今井自動車株式会社　マツダオートザム旭川
代表取締役社長　斉藤　英明

２．所在地
本社：〒070-8045
旭川市忠和５条７丁目１番３号　　TEL:　0166-61-5411
マイカーセンター：〒070-8045
旭川市忠和 5 条 7 丁目 2 番 1 号

３．事業内容
新車販売、中古車販売、自動車関連部品用品販売、自動車整備、車検整備、保険代理店

４．事業規模

活動規模	単位	2023 年度
売上高	万円	38000
従業員	人	20
床面積	m^2	3055

５．環境管理責任者及び担当者
環境管理責任者　　坂井　秀之
EA-21 推進事務局(担当責任者)　　神田　豊　　越智　章

６．認証・登録範囲　　全社、全事業を対象とする

７．環境方針

＜基本理念＞

マツダオートザム旭川は.大雪山連邦に囲まれた自然豊かな環境の中弊社が行う自動車販売・自動車修理・保険業務などの全ての事業活動において．地域並びに次世代の環境に配慮し．自然との調和を図りながら地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献します。

＜行動指針＞

① 環境に関する法令を厳守します。
② 限りある資源を大切にし、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
③ 循環型社会に向けて、産業廃棄物の管理・再利用を推進します
④ 環境改善目標を定め、継続的に環境改善活動を実施します。
⑤ 環境に配慮した車両整備並び販売をします。
⑥ この環境方針を全従業員に周知し、教育活動をします。

令和元年 5 月 30 日　　改訂

今井自動車株式会社

マツダオートザム旭川

代表取締役社長　斉藤　英明

８．実施体制

環境統括責任者　〈社長〉

環境マネジメントシステム（以下ＥＭＳ）に関する統括責任者

・ＥＭＳの実施及び運用に必要な人、設備、費用、時間を用意
・環境管理責任者の任命
・環境方針の策定、見直し及び全従業員へ周知
・環境目標の設定を承認
・代表による全体の評価と見直しを実施
・環境活動レポートの承認

環境管理責任者　〈サービス部門長〉

実務上の責任者として、環境取組を推進する（※代表者は、環境活動の実施に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲）

・ＥＭＳの構築、実施、管理
・環境活動計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認
・環境活動の取組結果を代表へ報告
・環境活動レポートの確認

ＥＡ２１推進事務局

環境管理責任者をサポートし、ＥＡ２１推進事務局として環境取組を推進する

・環境取組の指導、支援
・環境データの集計、取りまとめ

９．単年度と中長期の環境目標と環境活動計画

環境目標項目 2022 年度値	目標値に対する 環境活動計画	中長期目標 2023 年度	 2024 年度	 2025 年度
二酸化炭素排出量の削減 133679kg-CO_2	各項目での取組で実施する	前年維持 133679kg-CO_2	前年度実績維持 126429kg-CO_2	前年維持
電力使用量削減 77995kWh	・昼休憩中不使用PC消灯 ・使用してない箇所の消灯	前年維持 77995kWh	前年度実績維持 76185kWh	前年度維持
ガソリン使用量削減 5051ℓ	・エコドライブの実施 ・代車貸出時燃料点検	前年 1%減 5000ℓ	前年度実績 1%減 5170ℓ	前年度 1%減
軽油使用量削減 5341ℓ	・エコドライブの実施 ・代車貸出時燃料点検	前年 1%減 5228ℓ	前年度実績 1%減 4695	前年度 1%減
灯油使用量削減 22880ℓ	・工場・事務所　室温管理 ・事務所内 25 度 工場　20 度	前年 1%減 22652ℓ	前年度実績 1%減 22425ℓ	前年度 1%減
ガス使用量管理 31 ㎥	・夏場の使用は控える	使用量維持管理	使用量維持管理	使用量維持管理
産業廃棄物排出量管理 27012kg	・ゴミ分別の徹底 ・適正処理	適正管理　維持	適正管理　維持	適正管理　維持
一般廃棄物排出量削減 6550kg	・分別の徹底 ・裏紙のメモ利用増加	前年維持 6550kg	前年度維持 6550kg	前年度維持
水使用量管理 320 ㎥	・洗車時の無駄をなくす ・節水に努める	使用量維持管理	使用量維持管理	使用量維持管理
化学物質使用量管理	・在庫量の管理を実施する	購入量・在庫量の把握	購入量・在庫量の把握	購入量・在庫量の適正管理
グリーン購入推進	・購入資材をエコマーク商品に変更する	100%実施	100%実施	100%実施
エコカーの販売促進 56 台	・試乗回数を増やす ・エコカーの提案	前年維持 60 台	前年維持 60 台	60 台
パック De メンテ促進 203 台	・パックの継続 ・新規取得	前年維持 200 台	前年度 1%増 198 台	前年度 1%増

ガス並びに水使用量は 使用量が少ない為 数値の管理はするが 維持管理とする
産業廃棄物排出量は整備入庫に対して排出量が比例して増減する。
その為 数値の管理はするが 適正管理とする。

１０．2023 年度の実績と取組結果の評価及び次年度の環境活動計画

〔北海道電力の 2018 年度二酸化炭素排出係数 0.656kg-CO_2/kWh〕

環境目標項目 目標値(2023.3～2024.2)	実績	評価	取組結果と評価	次年度の環境活動計画
二酸化炭素排出量の削減(前年度維持) 133679kg-CO_2	126429 kg-CO_2	○	各項目の評価とします	各項目の取組による
電力使用量削減(前年度維持) 77995kWh	76185 kWh	○	施設内各部での節電結果です	・昼休憩中不使用PC消灯 ・使用してない箇所の消灯 ・更なる節電対策
ガソリン使用量削減(前年度 1%減) 5000ℓ	5220ℓ	×	エコドライブ等の成果に繋がらない代車使用が増加した為	・エコドライブの実施 ・代車貸出時燃料点検でのお客様の使用燃料の対策を重点
軽油使用量削減(前年度 1%減) 5228ℓ	4738ℓ	○	冬期間の降雪量が少ないのと節約の成果です	前年の取組を継続して実施する
灯油使用量削減(前年度 1%減) 22652ℓ	20873ℓ	○	冬期のこまめな温度管理や塗装乾燥機の使用管理で今後も更なる管理を徹底します	・工場・事務所の室温管理(事務所 25 度、工場 20 度)を徹底
ガス使用量削減(維持管理) 前年度使用量 31 ㎥	32 ㎥	―	湯沸し時の火力調整を管理します	前年の取組を継続して実施する
産業廃棄物排出量削減(維持管理) 前年度排出量 27012kg	29411kg	×	前年度より約 9%増加では有る重量物の交換が増加	・ゴミ分別の徹底 ・適正処理の管理
一般廃棄物排出量削減 (前年度維持)6550kg	6550kg	○	分別する事やメモ用紙へと使用の成果が出ています	前年の取組を継続して実施する
水使用量削減(維持管理) 前年度使用量 320 ㎥	334 ㎥	―	手洗い時の水量を管理します 水漏れが発生した事も要因	前年の取組を継続して実施する
化学物質使用量管理	在庫の管理	○	在庫の管理は実施できましたが、少しでも早く在庫を少なくします	前年の取組を継続して実施する
グリーン購入推進 (OA 用紙、文房具購入で 100%)	100%実施	○	エコマーク商品の購入は 100%実施できました	前年の取組を継続して実施する
エコカーの販売促進 60 台	60 台	○	価格管理.試乗も徹底した成果が販売実績に繋がった	・試乗回数を増やす ・エコカーの提案 ・更なる販売対策
パック De メンテ促進 200 台	197 台	×	販売時及び車検時の案内実施をするが景気が追い付いていない為	・パックの継続 ・新規取得 ・更なる案内実施

１１．環境関連法規への違反・訴訟等の有無

環境関係法令等の順守状況を確認した結果　環境法令等への違反はありません。
主な環境関連法規：廃棄物の処理及び清掃に関する法律、旭川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例、自動車リサイクル法、毒物及び劇物取締法、PRTR 法、旭川市火災予防条例、水質汚濁防止法、下水道法、騒音・振動規制法、旭川市公害防止条例　など
なお、関係当局からの指導、違反等の指摘・訴訟等はありません。

１２．社長による全体の評価と見直し結果および指示事項

昨年同様　全てが目標達成とは行かず残念では有るが社員の更なる意識向上を期待して来期も様子を見たいと思います。

・環境方針の改訂は　変更ありません。
・環境目標は　変更ありません。
・環境活動計画(手順、スケジュール、責任体制等)は　改訂の必要ありません。
・実施体制の変更は　必要ありません。
・環境経営システムは　改訂の必要ありません。